

～ ガイドツアー体験ルポ ～

ハイキングで楽しむ秋の猪名川路

いながわ 特派員報告



高橋 祐子



田野 香織

気持ちのいい季節がやってきました。高く晴れ渡る空を見れば、出かけた気分も盛りあがりますよね。そこで、今回は、日生中央駅発の無料ガイドツアー「阪急宝塚沿線観光あるき」多田銀銅山コースに参加しました。

銀山地区の名所・旧跡を中心に、町観光ボランティアガイドについてもご紹介します。

では、行ってきます！

空が晴れ渡る絶好のハイキング日和。参加者は25人。4グループに分かれ、グループごとにガイドについていただきました。

町観光ボランティアガイドの元気な挨拶の後、参加者全員で準備体操をして、出発！大阪や京都からも多く参加され、一人で申し込んでいる人が多数ですが、お互いすぐ打ち解けて話はずみです。「ハイキングが好きであちこち行っている。猪名川町は



▲静思館(旧富田熊作邸)の説明を受ける参加者



▲金山彦神社の石段付近を散策



▲中に入ることのできる青木間歩の坑道内の様子

初めてで、どんなところか楽しみ「自然が豊かな近くの穴場と評判で以前から興味があった。仕事の休みと、このツアーがうまく重なり申し込んだ」など。

猪名川町は初めて、という人のために、道中、ガイドが猪名川町についていろいろ説明されます。

静思館(旧富田熊作邸)に到着

海外からの来客も多かったせいでしようか、昔の和風のたたずまいに開放的でモダンな香りを感しました。「ジャズなどの音楽コンサートが開催されます。時間の流れ方が不思議で、なんとも言えない良い雰囲気です」とガイドのお話です。

田園風景を歩いて

静思館を出て一路銀山地区を目指します。周囲は収穫の秋を迎え、緑の山を背景に金色に実った稲が一面に広がり、昔ながらの見事な家屋が見られる美しい光景に、あちこちで感嘆の声があがります。植物をカメラで何枚も撮影する人もいました。

銀山に到着

まず、多田銀銅山悠久の館(資料館)でしっかり勉強し、出発。

代官所跡や鉱脈の走る大岩を見ながら進みます。6月には、鉱物を好む「ハクサンハ

金山彦神社・神宮寺を見学

歴史を感じさせる鳥居をくぐりながら石段を登ると金山彦神社があります。その本殿

「タザオ」という白い美しい花が一带に咲くそうです。

青木間歩(採鉱跡)

屋外の採鉱跡で、「当時の鉱脈発見方法」を学んで青木間歩(まぶ)へ。低い入口から身をかがめて入ると、中は鍾乳洞のようです。濡れた壁面に鉱脈が走り、鮮やかな青や光沢のある石が光ります。

を下った所に神仏習合された神宮寺があり、当時の人の神仏に関する柔軟さがわかります。

さらに鉱山めぐり

大小の間歩や空気孔で、銀山全体がアリの巣のようになっています。

規模の大きさと技術力の高さに感心します。さらに台所間歩や瓢箪(ひょうたん)間歩へと進みます。

村上新田から峠越え

間歩を後に、山道に入ります。緑がいっぱいの風景に「また秋の紅葉を見に戻ってこない」と言う人が続出。

棚田と背景の山々が美しい「村上新田」で、しばし休憩して、峠を切り切り、頂上へ。はるか向こうまで広がるパノラマの風景に「こんな高くて登っていったんだね」と歓声があがりました。

道の駅へ、ゴール

当時の鉱夫の作業は想像以上に過酷だったと感じました。

峠の下りは、まさに山道。励まし合って全員無事に下りました。

たくさんの方に猪名川町の豊かな自然と長い歴史を楽しんで欲しい

【町観光ボランティアガイド 近藤勝さんのお話】

猪名川町は豊かな自然と長い歴史があり、おすすめ

スポットはたくさんある中で、やはり多田銀銅山が一番人気です。

製練工場の煙で緑が枯れてむき出しの山になりがちですが、ここは閉山してから長い月日が経ち、緑豊かな自然が残る鉱山跡となっています。



▲近藤 勝さん

また、鉱夫が華やかに賑った土地柄なのでしようか、鉱山

り、道の駅いながわへ。ガイド手作りの参加記念品をいただきました。お土産を買う人も多く、一日の思い出を胸に、晴れやかな笑顔で帰路につかれました。

編集後記



ガイドの皆さん

ガイドさんたちの博識ぶりに脱帽です。いろいろ教えてもらえるうえに、明るく陽気で、本当に楽しい時間を演出していただきました。

いながわ特派員

跡周辺の明るい雰囲気も自慢です。

ハイキングの人から、歴史ファン、石に詳しい人、山の植物に興味のある人まで、一口に「銀山」といってもいろいろな目的でいらっしやいます。

中には専門家並みの知識を習得されていたり、いろいろな時期に来て季節の違いを楽しむ人もあります。春は、満開の桜。秋は、紅葉で山が金色に変わる景色もおすすです。

▼観光ボランティアガイドに関する問い合わせ先・産業観光課(☎766・8709)